



こんにちは！ 地域おこし協力隊、活動中！！

地域おこし協力隊とは、都市部の若者が概ね1年～3年の期間、地方に移住して地域協力活動を行う制度です。伊佐では、10月から新たな隊員を迎えて（14ページ掲載）現在6人の隊員が活動中です。

協力隊のひとりである小仲さんに進行役をお願いし、今や地域に欠かせない存在になりつつある皆さんに、自身の活動やその思いについて語っていただきました。

小仲 みんなどうして伊佐で地域おこし協力隊になろうと思ったの？

林 僕は、学生時代を北海道で過ごしカヌー部に所属していたので、伊佐市が「鹿児島県北海道」と呼ばれていて「カヌーが盛ん」ということを聞いて興味を持ったのがきっかけです。勢いで見に来てみると、山々に囲まれて自然も豊かで、会う人会う人面白しいし、ここにしようと思っただけでした。

田崎 私は、3月のテントサウナのイベントのときにはじめて伊佐市を知りました。もともと林さんと知り合いで、なんか楽しそうだなと思って移住を決意しました。

金山 僕は大阪出身だから伊佐も鹿児島も全然知らなかったけど、芸術家としてゼロからチャレンジしたいって気持ちがあつて、あえて知り合いのいない伊佐に応募しました。

小仲 チャレンジの気持ちは僕も共感するよ。建設コンサルタントの会社を辞めるときは勇気がいったけど、大学で学んだことを活かしたいって漠然と思ってた時に、伊佐の隊員募集を見つけて。大学時代にお世話に

なった人が伊佐にいたのが大きかったな。

中村 私は東京に住んでいたんだけど、子育ては田舎でしたいなって夢があったの。協力隊説明会に来てみたら、伊佐の職員さんがやさしくて、自分のまちにここまで愛着を持ってるって、素敵なまちなんだらうなって思っ、伊佐で頑張ってみようと思えたんだよね。

高市 私もまさに人で移住を決めたのね。昔から知り合いだったCico.のお二人がSNSにアップしていた伊佐の風景の写真をみて、こんな自然の中でダンスできるって幸せだらうなって。気づいたら移住しちゃった。

小仲 みんな「人」がキーワードになっっているね。実際生活してみてる？

中村 地域の人たちがすごくやさしくて受け入れてくれて、ほんとにありがたいです。最近、私が住んでいるところ以外のコミュニティの話とかもよく聞くようになって、お隣さん同士なのにまだまだ知らないことが多いなあって実感してます。

林 僕は初めて伊佐に来た時、泊まった宿とか食堂の人たちが親切で、そしてちよつとお茶目な人柄に惹かれたんだ。住んでいる地域の方々も本当によくしてくれて楽しく過ごせています。

金山 僕もすごく充実してる。P&Bなんちゅうの施設もアトリエとして自由に使わせてもらえて、漆器制作の環境として大満足です。ただ：：同世代の人が少なくて、友達ができないからちよつと寂しいかな。

高市 ちよつとわかるかも。たとえば、イベントを新しく始めようとして、はたして参加者が来てくれるのかって不安はあるよね。私は、前職でフィットネスクラブのインストラクターをしていた経験を活かして、

最近「ボディメンテナンズ教室」を始めたんだけど、まだまだ来てくれる人が少なく、あ、ただいま参加者大募集中です！

林 ちゃっかり宣伝してる(笑) 僕も「イサタン」という地域ブログで伊佐の情報を発信しているので、ぜひご覧ください。

小仲 自分の活動内容に話が進んできたね。各々これまでの活動とこれからどんなことをやっていきたいか話してください。

中村 私は、校区マップ(地図)づくり・みそ玉・薬草をテーマに活動中です。最初は、もつと伊佐のことが知りたいなって散歩したら、こんなスポットあるんだって発見するのが楽しくなっちゃって、手づくりのマップ作りをはじめたんだ。

高市 中村さんのマップはイラストもかわいくて、すごく評判よかったですよ。

中村 ありがとう。実際に私のマッ



プを見ながらまち歩きしてくれた人もいて、すごくうれしかった。協力隊の任期中にすべての校区マップを作成するのが目標です。あと、みそ玉と薬草の魅力を皆さんに伝える活動も続けていきたいな。



林 僕はやっぱり3月のテントサウナイイベントが印象深いです。地域の方々に支えられ、素敵な自然満喫イベントになりました。サウナ好きの田崎さんも移住してきてくれたのでパワーアップした第2弾を開催したいと思っています。他にも、曾木発電所遺構を活用したSUPツアーの開催や空き家を活用して交流拠点となるゲストハウスをつくりたいと計画中です。

金村 ゲストハウスって、みんなでワイワイ集まれるような？

林 そうそう！使われていない空き家をみんなで改修して、地元の人や市外から来てくれた人がゆつくり過ごせたり、交流できたりする場所をつくりたいと思ってる。もしいい空き家をご存知の人がいれば、ぜひご紹介いただけると嬉しいです。



表情豊かな高市さん

高市 私は、空き家バンクのサイト運営と移住者支援の活動をしています。最近では、先輩移住者へのインタビューもしていて、ライターの仕事も向いてるかもって思えた。

中村 なんか高市さんは、今年になってきらきらしてきたよね。

高市 私が書いた記事を読んでくれた他の自治体の協力隊が視察に来てくれて、これまでの活動がうまく繋がってきたなって手ごたえを感じる。あと、自分なりにダンスを披露する機会をつくれたのも大きいかな。今後は、中高生ともダンスの楽しさを共有できるような取り組みを始めたいな。



漆の魅力について語る金山さん

金山 僕は、漆器を使った特産品の開発をやってます。漆はすごく繊細な作業が必要で量産化できないけど、竹や炭との調和にも挑戦してて、

日々トライ&エラーで頑張ってます。

田崎 私はジビエに興味があるから、革なめしとか革芸もやってみたくて。金山くんの活動とも共通する部分があるかも。

金山 地域の芸術家の作品を集めて展示会とかやってみたいな。みんなで協力して、伊佐におしゃれなギャラリートか作れたらおもしろいよね。

田崎 その時は、ぜひ参加させてください。私は、10月に協力隊になったばかりで具体的な活動内容はまだ何も決まってるなくて・・・少し焦りもあるんだけど、まずは狩猟免許を取りたいなって思ってます。

小仲 わかる！僕も着任したての時は自分の活動にすごく悩んでた時期があったよ。

林 そうなの？スピード感持ってる印象なことをガシガシ進めている印象だったけど。

小仲 いや〜コミュニティづくりのお手伝いができればって思ってたんだけど、なかなかうまくいかなくて。でも今は、11月24日のもみじ祭り

見事な進行役の小仲さん



に向けて、観光特産協会と大口高校生との間に入って運営調整を任せてもらえるようになったから、やっと本格的に活動できてるよ。

ゆくゆくは法人をつくって、学生が地域活動に参加できるような仕組みをつくりたいんだ。

林 素敵だね！伊佐市を大きく変えるようなことは難しいけれど、自分たちが興味があつてやりたいと思ってるのが、少しでもこのまちのためになったら嬉しいな。

先輩隊員の話に
興味津々の田崎さん



金山 そうだね。僕たち協力隊員の活動がちよっとしたきっかけになって、多くの人に伊佐を知ってもらって、行ってみたいなって興味をもってもらえたらいいな。

小仲 着任したばかりの田崎さんはこれからだけど、それぞれ自分の居場所を見つけて、地域に根差した活動を頑張っているね。このまちには、まだまだ魅力的な人もモノも場所もイベントもたくさんあるから、これからもみんな協力してどんどん伊佐を盛り上げていこう！

一同 オオー！

みんなの活動をのぞいてみよう

- ① みそ玉作りをレクチャー
- ② どこでもテントサウナ
- ③ 市内でアート写真を撮影
- ④ かわいらしい手づくりの漆細工
- ⑤ 高校生との打合わせ



3



4



1



5



2